

学習成果の評価方法および進級・卒業認定基準

1 成績評価の基準・方法

成績評価は、「文字・語彙」「文法」「読解」「聴解」「会話」「作文」の各分野についてそれぞれの評価対象物※1を、授業計画※2で定めた各科目の評価割合に基づき客観的に行う。

成績評価	得点帯
A	100 — 85
B	84 — 70
C	69 — 60
D	59 以下

※1 評価対象物は、①授業予習・復習課題、②授業成果物、③発表・実技、④確認テスト、⑥定期試験とし、各対象物の評価は数値化され科目ごとに定められた評価割合に換算する。定期試験を除く各評価対象物については、学生が自身の取り組み状況、学習経過、学習成果等を授業内で逐次把握できる形をとっている。

※2 授業計画は、非常勤教員から出た意見を参考に毎年2月から3月にかけて専任教員で当該年度の進め方を見直し、教材選定を含め次年度の計画を立てるものである。

2 進学1年コースⅠから進学1年コースⅡへの内部進学認定基準

- ・原則として出席率が80%を下回っていないこと
内部進学判定会議は毎年2月に行う。

3 修了の認定基準

- ・原則として出席率が80%を下回らず規定の課程を修了していること
修了判定会議は毎年2月に行う。

4 成績係数の活用

それぞれの学生について、各科目の成績評価を日本学生支援機構の示す基準に則して点数化したポイントの平均値を算出して成績係数とする。

<成績評価の点数化>

ポイント	成績評価	得点帯
3	A	100 - 85
2	B	84 - 70
1	C	69 - 60
0	D	59 以下

<通知・公表>

学生には自身の成績係数を個別に通知する。

※学校全体の成績分布結果は、学校として算出する GPA の基準に統一し、学内掲示版およびHPにて公表

<活用>

成績係数は、学生自身の学習状況の把握、担任教員による学習指導、学校における奨学金受給者選考、各種推薦の可否決定、成績優秀者表彰の選考等において活用する。